

## KCJS30 日本語 B クラス 2018 年 秋学期

### <講師>

- ・ 担任: 前口 織江 oy18@columbia.edu 副担任: 山岡千弘 cy2185@columbia.edu
- ・ 講師室: 扶桑館 2 階 F203 電話: (075) 251-4996

### <このコースの目標>

1. 自分の言いたいことを分かりやすく伝えられるようになる。
2. 書かれたものや言われたことを正しく理解できるようになる。
3. 相手や場面に合った表現ができるようになる。

### <コースの内容>

読む: ①正しく読む練習。読んだことについて話したり書いたりする。表現や単語を学ぶ。

②楽しんで読む練習。辞書を使わずに簡単な話を読む。

書く: 言いたいことを分かりやすく段落で書く練習をする。

聞く: 聞いたことを理解し、よく分からなかった時は、聞き返せるようになるための練習をする。

話す: 言いたいことを分かりやすく話したり、場面に合った話し方をする練習をする。

文法: 初級文法を復習して使えるようにする。日本語能力試験(JLPT)3級の文法を使えるようになる。

漢字: 小テストをすることで、漢字力をつける。読み約500字、書き約250字。

発表: 伝えたいことを分かりやすくまとめて発表する。

CIP: 日本人のグループに参加し、授業では学べない表現や文化を学ぶ。

### <教材>

1. 『できる日本語 中級』嶋田和子監修 アルク (2013)
2. 『短期集中日本語文法総まとめ ポイント20』友松悦子・和栗雅子著 スリーエーネットワーク (2005)
3. 『Kanji in Context 中・上級学習者のための漢字と語彙』  
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター The Japan Times (2014)

### <注意>

日本語アワー (9:00-12:00): 日本語以外の言語を話したり読んだり書いたりしたい時、  
携帯電話やスマートフォンを使いたい時、扶桑館の外です。

宿題: ①出す日を守る。遅れたら点が半分になる。

②再提出(redo)の宿題は三日以内に出す。

③自分一人ですること。友達に見せてもらったり、直してもらったりしてはいけない。

欠席: ①休む時は必ず連絡をする。

②4時間までの欠席は、成績に影響しない。ただし、その日のうちに連絡すること。

遅刻: 20分以上の遅刻は欠席とする。

試験/小テスト: 受けられなかった試験や小テストを後で受けることはできない。

Honor Code: Office of Global Programs Columbia University Terms of Participationと

Columbia College Honor Code (<http://www.college.columbia.edu/ccschonorcode>)を守る。

<日本語が上手になるためのコツ(tips)>

- ①たくさん話す：休み時間も話す。スマホは授業が終わって扶桑館を出てから。
- ②習ったことを使う：宿題や作文に習った漢字や文法を使う。話す時も習った表現を使ってみる。
- ③オフィスアワーを使う：分からないことは一人一人違うので、オフィスアワーに行って、質問をする。
- ④小テストの勉強：「長い時間×1回の勉強」で覚えることはできない。「短い時間×何回かの勉強」の方が覚えやすく忘れにくい。

せいせき  
<成績>

試験（4回）	20%
期末試験	10%
小テスト（単語、漢字など）	15%（下から2回分の低い成績は落とす）
会話テスト（2回）	5%
宿題	15%
授業参加・準備	20%（下から4回分の低い成績は落とす）
発表	10%
CIP	5%

- 94.0	A	79.9 - 77.0	C+
93.9 - 90.0	A-	76.9 - 73.0	C
89.9 - 87.0	B+	72.9 - 70.0	C-
86.9 - 83.0	B	~	
82.9 - 80.0	B-	59.9 -	F

GRADING CRITERIA (Attendance, Preparation & Participation)

- 10 : Preparation for assigned materials is thoroughly done including looking up vocabulary and kanji.  
The student is able to actively participate in class activities, and their performance is smooth.  
In student's preparation, unclear areas are identified clearly.  
The content of the material is understood accurately.  
Performance clearly reflects the feedback instructors have given previously.
- 8 : Participation is active, but preparation has not been thoroughly performed including looking up vocabulary and kanji.  
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.  
The content of the assigned material is not understood thoroughly or accurately.  
Performance is not smooth in order to communicate without difficulty.  
Mistakes are repeatedly made in the same areas where instructors have given feedback previously.
- 6 : Lack of thorough preparation hinders active participation in class activities.  
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.  
Half of the vocabulary and kanji are not looked up.  
The content of the assigned material is only partial or greatly misunderstood.
- 5 : Preparation has not been performed, and nor is there participation in class activities.  
In the student's preparation, unclear areas are not identified clearly.  
Most of the vocabulary and kanji are not looked up.  
The content of the assigned material is not understood.
- 0 : Absent